

# 心齋橋PARCOが手がける、「アートをもっと身近に。」をコンセプトとしたプロジェクト PARCO Wall Gallery SHINSAIBASHI 第9弾

## 大阪、京都を拠点に活動する 4名のディレクター、キュレーターが初キュレーション

心齋橋PARCOは、2023年7月7日(金)より「PARCO Wall Gallery SHINSAIBASHI 第9弾『昨日はどんなARTを観ていましたか?』展」を開催いたします。

本企画は、TEZUKAYAMA GALLERY（南堀江）、Marco Gallery（南船場）、CANDYBAR Gallery（京都）、108 artworks（京都）の大阪、京都を拠点に活動する4名のディレクター、キュレーターがアーティスト10名を厳選し、心齋橋PARCO館内の共用部と4F SkiiMa Galleryに作品を展示いたします。

### ■「昨日はどんなARTを観ていましたか?」展について

展示作品を入口とし、アーティスト、ディレクター陣が出口になるような仕掛けとして、来場者に本企画のタイトル「#昨日はどんなARTを観ていましたか?」のハッシュタグをつけて、SNSで感想や作品写真を投稿してもらい、オンライン上で鑑賞者とアーティスト、ディレクターがコミュニケーションをはかれる場の創出を目指します。

### ■「PARCO Wall Gallery SHINSAIBASHI」とは

2022年2月に始動した、心齋橋PARCOが手がける「アートをもっと身近に。」をコンセプトとしたプロジェクト。展示作品は全てPARCOのECサイト「ONLINE PARCO」でご購入いただけます。

### 開催概要

《タイトル》 PARCO Wall Gallery SHINSAIBASHI 第9弾  
「昨日はどんなARTを観ていましたか?」

《展示期間》 2023年7月7日(金)～8月21日(月)  
※ SkiiMa Galleryのみ8月1日(火)まで

《展示会場》 心齋橋PARCO館内7カ所  
Gallery 1・1F 柱  
Gallery 2・2F 柱  
Gallery 3・3F 柱  
Gallery 4・3F 大丸連絡通路  
Gallery 5・3F 大丸連絡通路  
Gallery 6・14F 通路壁面  
4F SkiiMa Gallery

《販売期間》 2023年7月7日(金)10:00～8月21日(月)19:00

《販売方法》 ONLINE PARCOにて販売  
※作品はオンライン販売のみとなります。  
会場での販売はありません。

《出展アーティスト》 大江慶之、杉山卓朗、御村紗也、近藤亜美、  
谷口典央、松井照太、津田光太郎、Funny Dress-up Lab、  
一林保久道、KAMERIAN（順不同）

《公式サイト》 [shinsaibashi.parco.jp/page/parcowallgallery/](https://shinsaibashi.parco.jp/page/parcowallgallery/)

《主催》 パルコ

《企画》 パルコ / カルタクリエイティブ

《キュレーション》 岡田慎平（TEZUKAYAMA GALLERY）、  
菰田寿允（Marco Gallery）、平丸陽子（CANDYBAR Gallery）、  
渡邊賢太郎（108 artworks）

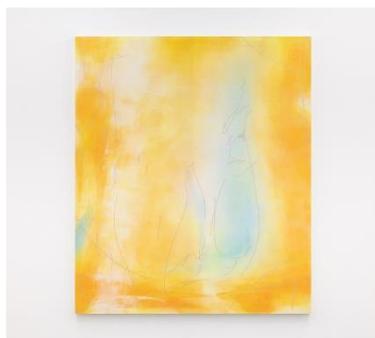


【本件に関するお問い合わせ】

株式会社パルコ 心齋橋店営業課 菊池(kiku-aya@parco.jp)

## ◆参加アーティスト（一部）

※画像はイメージです。※掲載作品は一部です。※展示内容は予告なく変更となる場合がございます。



## 御村紗也 / Saya Mimura Instagram : @mm\_105311

1997年、三重県生まれ。2022年に京都芸術大学(旧京都造形芸術大学)大学院芸術研究科芸術専攻修士課程を修了。

日に照らされた影、風に揺れる木々の音、肌で感じる温度や空気の香りといった「刹那的な時間や情景」をモチーフとした絵画作品を制作。対象をドローイングや写真として一旦保存し、更にそれらをシルクスクリーン、ペインティングといった異なる技法で再構成し、キャンバス上で独自の画面を構成していく。リズムカルな描線、柔らかな色彩を丁寧に重ねた作品からは泡沫の触れられない存在を掴もうとする作家の意思を感じさせる。



## 大江慶之 / Yoshiyuki Ooe Instagram : @ooeyoshiyuki

1980年、大阪府生まれ、在住。成安造形短期大学造形芸術科専攻科卒業。

視点を変えることで、モノの意味や認識が変化する事に着目した立体作品、絵画作品を制作。モチーフ同士の組み合わせや、そこから生まれる相互作用は、シュールレアリスムの手法「デペイズマン」や「Wヴィジョン」を想起させる。背景、マスキングテープ、ドローイング(メモ帳)で構成した塊、あるいは、マケットのような構造物をモチーフに、一定の距離感を取った視点や構図で描いた絵画作品を2021年より制作・発表。



## 谷口典央 / Norio Taniguchi Instagram : @noriotaniguchi33

1988年福岡県生まれ。2020年東京藝術大学大学院美術研究科版画第2研究室 修了。過去・未来・時間をテーマとし描く画面の中の人や動物、風景などに物語を見出し油絵や版画、木の板を彫り描いていく版木を用いて、描くことへの深い追求の中で独特な世界観を描いています。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社パルコ 心齋橋店営業課 菊池(kiku-aya@parco.jp)

## ◆参加アーティスト（一部）

※画像はイメージです。※掲載作品は一部です。※展示内容は予告なく変更となる場合がございます。



### Funny Dress-up Lab Instagram : @fxdul

1978年生まれ。千葉県千葉市出身。京都府在住。本来ミニ四駆をドレスアップする為に生産、販売されていたドレスアップステッカーが持つ、鮮やかな色彩、独特な形状、版ズレ、デッドストックであるという様々な面に魅了され、ドレスアップステッカーのみを加工せずに使用したコラージュ作品を制作している。世の中にあるドレスアップステッカーを使い切った時、制作は終わりを迎える。



### 一林保久道/Hokuto Ichibayashi Instagram : @hokuto\_ichibayashi

1992年生まれ。石川県出身。京都精華大学日本画専攻卒業。主に描く絵画には社会的なものや歴史的なものに風刺を匂わせた作品が多く、とくに自分が幼少期に遊んだゲームのニュアンスを含ませた俯瞰的な画面や、横スクロールなど(ゲーム内の俯瞰図、歪んだ遠近感)は元来古典絵画から着想を得たものなので、結果的には古典的な歴史的絵画などから関心を得たものであると考える)を織り交ぜた作品が主体となっている。



### Kamerian. Instagram : @kamerian\_\_

グラフィックアーティストとして国内外で活動。タトゥーアートやアニメーション、漫画などから影響を受ける。シルクスクリーンを主な技法として用い、よく知られた寓話や大衆文化をモチーフに欧米アニメを彷彿とさせるような強い輪郭線と色彩で倒錯的な世界観を作り上げる。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社パルコ 心齋橋店営業課 菊池(kiku-aya@parco.jp)